

令和4年12月15日

マダニによる重症熱性血小板減少症候群（SFTS）患者の死亡事例について

12月13日、松山市保健所管内の医療機関から、八幡浜保健所管内在住の方の重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の発生届が松山市保健所に提出され、14日、死亡したことを確認しました。

県内在住者では、平成25年に4人、26年に4人、29年に1人、令和4年に1人の合計10人の死亡が確認されており、今回が11人目（今年2人目）の死亡例です。

この疾患は、ウイルスを保有するマダニに咬まれることで感染するため、マダニに咬まれないような予防策の周知について御協力をお願いします。

【重症熱性血小板減少症候群（SFTS）患者の発生状況】

| 項目 | SFTS患者（県内40例目（県内在住者38例）） |
|--------|---------------------------------|
| 年齢、性別 | 70歳代、男性 |
| 居住地 | 八幡浜保健所管内在住 |
| 届出年月日 | 令和4年12月13日 |
| 届出医療機関 | 松山市保健所管内の医療機関 |
| 発症年月日 | 令和4年12月5日 |
| 初診年月日 | 令和4年12月8日 |
| 診断年月日 | 令和4年12月12日 |
| 症状 | 発熱、食欲不振、筋肉痛、血小板減少、白血球減少、下痢、呼吸不全 |
| 転帰 | 死亡（12/13） |
| 刺し口 | 不明 |
| 渡航歴 | なし |

【予防方法】

マダニに咬まれないことが重要です。

- 草むらや藪など、マダニの生息する場所に入る際は、長袖の服、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、できるだけ肌を露出しないこと。
- 屋外活動後はマダニに刺されていないか確認し、吸血中のマダニに気がついた場合は、手でつぶしたり、無理に引き抜いたりせず、医療機関で処置すること。
- 飼い犬等にマダニが付着する可能性があるため、散歩から帰ったらブラッシングしてマダニがついていないか確認し、犬小屋等はよく掃除をして清潔に保つこと。また、マダニ忌避剤を適切に使用すること。
- マダニに咬まれた後に発熱等の症状があった場合には、医療機関を受診すること。

【相談窓口】

感染に不安のある方は、各保健所の相談窓口にご相談ください。

| | |
|-----------------------|----------------------|
| 四国中央保健所（0896-23-3360） | 西条保健所（0897-56-1300） |
| 今治保健所（0898-23-2500） | 中予保健所（089-909-8757） |
| 八幡浜保健所（0894-22-4111） | 宇和島保健所（0895-22-5211） |
| 松山市保健所（089-911-1815） | |

【参考ホームページ】

- 愛媛県 <https://www.pref.ehime.jp/h25500/sfts/sftsattention.html>
- 愛媛県感染症情報センター <https://www.pref.ehime.jp/h25115/kanjyo/topics/sfts/index.html>
- 厚生労働省 <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts.html>